

## 第 4 章 生活環境影響調査項目の選定

## 第4章 生活環境影響調査項目の選定

生活環境影響調査項目は、「廃棄物処理施設生活環境影響調査指針」（平成18年9月、環境省）（以下、「調査指針」という。）に準じ、施設の規模等の事業特性や立地場所の自然的及び社会的条件の地域特性を踏まえた上で、本事業における生活環境影響要因との関連を整理し、表4.1-1に示すように選定した。

生活環境影響調査項目の選定した理由は、表4.1-2に示すとおりである。

表4.1-1 生活環境影響調査項目の選定

調査事項		生活環境影響要因	施設からの 処理水の 放流	施設の 稼働	施設からの 悪臭の漏洩	し尿等の 運搬車両の 走行
		生活環境影響調査項目				
大気環境	大気質	二酸化窒素（NO <sub>2</sub> ）				○
		浮遊粒子状物質（SPM）				○
	騒音	騒音レベル		○		○
	振動	振動レベル		○		○
	悪臭	特定悪臭物質 臭気指数			○	
水環境	水質	化学的酸素要求量（COD）	○			
		浮遊物質（SS）	○			
		その他必要な項目	○			

注）網掛けの項目は、調査指針に示す標準項目

○：選定した生活環境影響調査項目

表 4.1-2 生活環境影響調査項目の選定した理由及び選定しなかった理由

生活環境影響調査項目	生活環境影響要因	選定の有無	選定した理由及び選定しなかった理由
大気質	し尿等の運搬車両の走行	○	施設の処理量が減少することから、し尿等の運搬車両台数も現状から削減される計画である。しかし、現状の大気質の状況を把握することを目的に、生活環境影響調査項目として選定した。
騒音	施設の稼働	○	施設の処理量が減少することから、既設機器の流用または処理フローを変更して機器能力の適正化を図る計画としている。そのため、施設から発生する騒音も現状より悪化することはないと考えられる。しかし、現状の騒音の状況を把握することを目的に、生活環境影響調査項目として選定した。
	し尿等の運搬車両の走行	○	施設の処理量が減少することから、し尿等の運搬車両台数も現状から削減される計画である。しかし、現状の騒音の状況を把握することを目的に、生活環境影響調査項目として選定した。
振動	施設の稼働	○	施設の処理量が減少することから、既設機器の流用または処理フローを変更して機器能力の適正化を図る計画としている。そのため、施設から発生する振動も現状より悪化することはないと考えられる。しかし、現状の振動の状況を把握することを目的に、生活環境影響調査項目として選定した。
	し尿等の運搬車両の走行	○	施設の処理量が減少することから、し尿等の運搬車両台数も現状から削減される計画である。しかし、現状の振動の状況を把握することを目的に、生活環境影響調査項目として選定した。
悪臭	施設からの悪臭の漏洩	○	施設の処理量が減少することから、既設機器の流用または処理フローを変更して機器能力の適正化を図る計画としている。そのため、現状以上に施設から悪臭が漏洩することはないと考えられる。しかし、現状の悪臭の漏洩の状況を把握することを目的に、生活環境影響調査項目として選定した。
水質	施設からの処理水の放流	○	施設の処理量が減少することから、既設機器の流用または処理フローを変更して機器能力の適正化を図る計画としている。そのため、現状以上に施設からの処理水によって水質が悪化することはないと考えられる。しかし、現状の水質の状況を把握することを目的に、生活環境影響調査項目として選定した。